

# 北海道文化奨励賞

い とう りゅう すけ  
伊 藤 隆 介

昭和63年に東京造形大学を卒業後、映像作家、現代美術作家として、実験的な映像作品を手がける。国内外の展覧会や映像フェスティバルに出品し受賞を重ねるなど、国際的にも高い評価を得ている。実験的な映像作品に加え、近年は映像に造形的な要素を融合させたインスタレーション作品を数多く手がけ、精力的に発表している。虚と実が交差するメディアの本質を鋭く抉ったその作品は、本道美術界の新世代を代表するに相応しいものである。今後の活躍が期待され、本道における映像芸術の発展、推進に大きく寄与している。

## ◎受賞者の主な略歴

- S63 東京造形大学デザイン学科卒業
- H4 The School of the Art Institute of Chicago (米国) 大学院修士課程修了
- H5 第13回「Black Maria映画祭」にてDirector's Choice賞
- H6 北海道教育大学教育学部講師／准教授／教授 (～現在)
- H13 「伊藤隆介の世界」展 (北海道立釧路芸術館)
- H18 「北の創造者たち／虚実皮膜…その後 伊藤隆介」展 (札幌芸術の森美術館)
- H23 札幌文化奨励賞  
札幌市文化芸術円卓会議委員 (～H25)  
「CINEMA2.0：伊藤隆介的電影機器」(香港アートセンター)
- H25 「Re:Quest-1970年代以降の日本現代美術展」(ソウル大学校美術館／国際交流基金)
- H26 「伊藤隆介 All Things Considered」(札幌宮の森美術館ほか)
- H27 「もうひとつの眺め 北海道発：8人の写真と映像」展 (北海道立近代美術館)  
北海道立近代美術館協議会委員 (～現在)

